

# 2024 年度（令和 6 年度）施設関係者評価 報告書

令和 7 年 1 月 22 日

## ① 本園の教育目標

### ・キリスト教保育

- (1) 子どもが、自分自身が大切なひとりとして受け入れられていることを感じ取り、自分自身を喜びと感謝をもって受け入れるようにする。
- (2) 子どもが、お互いの違いを認めつつ、一緒に過ごす努力をし、そのことを喜びとするようにする。
- (3) 子どもが、心を動かし、探求し、判断し、創造力を持ち、創造的にさまざまな事柄に関わるようにする。
- (4) 子どもが、私たちの生きる自然や世界を神様による恵みとして受けとめ、それらの事柄に関心を持ち、自分達のできることを考え、行うようにする。
- (5) 子どもがイエスを身近に感じ取ることを通して、見えない神様の恵みと導きを感じ、「イエスさまと共に」毎日を歩もうとする思いを持つようにする。

- ・一人一人を大切にできる教育
- ・創造性と自己表現力を育てる教育
- ・体づくりに取り組む保育

## ②本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・一人一人の幼児を大切にしたい質の高い教育の実践を目指す。
- ・チーム保育などにおける教育間の協力的な指導をはかる。
- ・教育の質向上のための園内研修を充実させる。

## ③評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取 り 組 み 状 況
1	保育の計画性	B	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 4月に年間カリキュラムを立て、年間の見通しをたてた。</li><li>・ 月案を立て、1カ月の保育・行事に向けての準備の計画を立てた。</li><li>・ 週案を毎週金曜日の職員会議で発表し、それぞれの保育の見通しを幼稚園全体で共有し、連携を図った。</li><li>・ 職員間の横の連携が取れていた為、それが良い保育につながったと思う。</li><li>・ 今年度は音をテーマとした活動・光と影をテーマとした活動を2学期11月から3学期2月にかけて、計画的に行い、子どもたちの探究心を育てることができ</li></ul>

			<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、体を動かす活動を増やすために、5月～10月の間に月に1回公園を利用できるよう申請を出し、場所の確保を行ったり、保育計画に入れる等計画していたが、天候の関係で実現ができなかった。</li> </ul>
2	子どもの育ちの評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の方々へ、毎月月末にそれぞれのお子さんの様子を伝えるコメントを書いたり、クラスだよりで園でのクラスの様子・活動を伝えることで、保育者自身が子供の成長する姿を思い返すことができた。</li> <li>決められた時間内の勤務の中で、保育者同士の日々の雑談等から子供たちの姿を共有することができ、他のクラスの子供たちの姿にも気付く事ができた。そのことによって、園全体の子に対して意識して接することができた。このような時間は今後も大切にしていきたい。</li> <li>子供たちの頑張りや成長を誉めてあげようという気持ちが基本となる保育が行われ、その保育者の姿勢が子供の成長に繋がっていくと感じた。</li> <li>行事を通して、保護者に子どもの姿をみてもらう事ができて良かった。お便り帳などの文章では伝えられない子供の姿や先生たちのことを見てもらえてよかった。</li> </ul>
3	保育のあり方をおして	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>満三歳児から年長組まで、他学年との交流を持つ姿がみられた。</li> <li>職員間の子供たちに関する情報交換により、学年に関係なく一人一人の子供の事を全員の職員が共有でき、預かり保育等で担任がいない場合にも一人一人に適切な声掛け・接し方が出来た。</li> <li>職員のお互いの協力により、手厚い保育が出来た。</li> <li>保育の中で子供たちの活動に時間差が生まれた際、他の学年の先生がフォローす</li> </ul>

			<p>ることで遊びの時間の確保ができた。また、チーム保育の職員との連携により、子どもたちの自由に遊ぶ時間をしっかりとることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火曜日・木曜日の礼拝後のお楽しみの時間に各先生が行う手遊びや出し物を通して、保育の広がりを感じることができた。</li> <li>・自由に遊ぶ時間と集団での活動時間のバランスを意識的にとって保育を行うことができた。</li> </ul>
4	保育者の努力	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの職員が、全園児が集まる機会に子供たちが楽しめるような出し物やダンス等を積極的に新たに取り入れ保育の幅を広げた。</li> <li>・クラスで起こる問題を全員の職員で考え解決していけるよう進めた。</li> <li>・担任が、クラスの活動に必要な物・子どもたちに解りやすく伝えたい事、また保育の導入のための工夫を常に考え準備を行う事が出来た。</li> </ul>
5	保護者とのつながり	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回発行するクラスだより・毎月1回月末にお便り帳にてお子さんの様子を伝えるコメント・ネットのルーテル日記等を通して保護者とつながることができた。</li> <li>・個人面談を年に2回行うことで、おうちの方と情報交換をすることが出来た。</li> <li>・年に6回行われるお誕生会では、保護者の方々と共に子供の成長を感じることが出来た。</li> <li>・行事を通して保護者の方にも子どもたちの姿を見て頂く事が出来、子供たちの成長を保護者と保育者と共に感じることができた。また、保護者が行事のために幼稚園に足を運んでくださり、保護者との関わりもできた。</li> <li>・絵画指導の先生の講演会を通して、絵に関する質問等を直接聞くことが出来良い時間となった。</li> </ul>

6	地域の自然・社会との関り	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中学生の職場体験を年に2校、各5日間2名ずつを受け入れた。</li> <li>• 未就園児の集まりを今年度は回数を前年度の9回から14回に増やし、内容も充実させて行うことが出来た。はじめての方に幼稚園の事を見て頂く事ができた。また、未就園児と在園児が関わるプログラムをとおして、在園児にとっても、小さい子と関わる良い機会となった。</li> <li>• お芋ほりで地域の畑のかたの熱心なお話を聞き、自然と触れ合うことができた。</li> <li>• 交通安全教室・小学校の訪問等が子どもたちにとって良い刺激となった。</li> <li>• 就学に向けて、直接小学校の先生と話し合いを持つ機会や、小学校の授業を見学できる機会あり、小学校との連携の為に良い時間をもつことができた。</li> <li>• 神明園（養護老人ホーム）を年長の子どもたちが訪ねたり、行事の際にホームの方が見学に来てくださったりして交流を深めた。子どもたちにとっても、色々な方と触れ合える楽しい時をもつことができた。</li> <li>• 11月に行われた外国の方の礼拝を機に、その国のことを知る機会があり、子どもたちが外国に対して知ることができる良い機会となった。</li> </ul>
7	研修への取り組み	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オンラインで職員全員が学ぶ時間を持てた。学ぶことで、保育のモチベーションにもつながった。来年度に向けてまた受講していくきっかけをつかめた年だった。</li> <li>• 今年度も毎月1回の聖書研究の時間をとり、聖書の学びの時をもった。さらに充実した時間となるよう、引き続き行いたい。</li> </ul>

評価（A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった）

#### ④総合的な評価結果

評価	理由
B	天候（夏の暑さ）により、計画通りに行えなかった活動もあったが、その都度計画の見直し・実行をし、新しい取り組みを行うことで新たな活動に繋げることができた。しかし、体を動かす活動に関しては計画通りに行うことができなかった。

#### ⑤今後取り組む課題

計画に入れていた体を十分に動かす活動が、天候により十分に行えなかった。今後は、天候のことをあらかじめ視野にいれ計画をたて、体づくりに大切な活動を増やしていきたい。また、園内だけではなく園外にも出かけていき、活動を広げていきたい。

# 施設関係者評価委員会の評価

## <礼拝について>

- 初めて、聖書のお話のある礼拝を参観した。子どもたちがことばを覚えていたり、落ち着いて集中していることに驚いた。
- お話が、幼稚園から配られる聖句カードにそったお話になっているのが良いと感じた。聖句カードは家でも読んだりする。また、子どもも大切にとっている。
- チャプレンの筑田先生のお話がとてもよいと思った。
- 小学校に上がる前に、話を聞く土作りをしてもらっていると感じた。
- 教会の礼拝堂をもっと利用するとよいのではないか。→利用する機会は小児祝福式・卒園礼拝と増やした。今後も検討していく。

## <とうきょうすくわくプログラムの活動について>

(絵画・体操・英会話・音の活動・光、影の活動)

- 「おしえる」ことより体験することができることが良いと感じた。
- 家でも活動の話をしている。子どもの中でも活動の内容が広がっていると感じる。
- 活動の中から、色々なことを吸収していると感じた。
- とても良い活動だと思った。
- 自由遊びの時間と活動の時間のバランスをとりながらすすめていくことは大事だと思う。自由遊びの時間は、時間の長さではなく、どれだけ遊びこんでいるかが大切なことだ。

## <保護者アンケートより>

- ルーテルの給食は自家製であり、栄養も整っておりとても良い。アピールの仕方として、インスタにメニューを載せるのもよいのではないか。
- インフルエンザ等感染症の病気が出た場合は一人出た時点でマチコミで保護者に知らせた方がよい。

## <全体を通して>

- 先生たちに声を掛けやすい。
- 担任以外の先生からも、子どもの話が聞けるのがとても良い。
- 先生たちの穏やかで優しい雰囲気子どもたちにも伝わり、子どもたちも穏やかで優しいと感じる。先生たちの関係性が良いと感じる。